

いつもなにかがあたらしい

東京ニューシティ管弦楽団

第91回定期演奏会

シベリウス

Jean Sibelius

シベリウス

交響詩「フィンランディア」

Jean Sibelius / Symphonic poem "Finlandia" (完成稿世界初演)

シベリウス

ヴァイオリン協奏曲ニ短調 作品47

Jean Sibelius / The Violin Concerto in D minor, Op. 47

シベリウス

交響曲第2番ニ長調 作品43

Jean Sibelius / Symphony No. 2 in D major, Op. 43
「ブライト Copp 新版」

完成されないうまま今にいたった
交響詩「フィンランディア」の完成稿世界初演!



指揮
内藤 彰
Akira Naito



ヴァイオリン
清水 高師
Takashi Shimizu

2013年 11月16日(土) 14:30開演
13:30ロビー開場
東京芸術劇場コンサートホール
(池袋駅西口より徒歩2分)

料金 (全席指定) S:6,000円/A:4,500円/B:3,000円/C:2,000円/リラックスシート:3,000円
学生半額(25歳以下、S席を除く) 小中高生1,000円(保護者同伴S席を除く)
シニア割10%引き(60歳以上) 友の会会員 15%引き(随時入会受付 年会費500円)
※上記割引については事務局までお問い合わせ下さい。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。 ※やむを得ず、出演者・演目が変更になる場合がございます。ご了承ください。

【主催】一般社団法人 東京ニューシティ管弦楽団

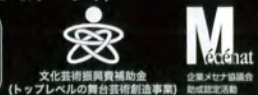
■お申し込み・お問い合わせ
東京ニューシティ管弦楽団事務局(土・日・祝を除く10時から18時)
チケットダイヤル:03-5933-3266
FAX:03-6766-3782

ホームページからお申込みいただけます。 <http://tnco.or.jp>

チケットぴあ(Pコード:205-227) TEL:0570-02-9999
<http://www.t.pia.jp>

東京芸術劇場ボックスオフィス TEL:0570010-296(ナビダイヤル)
東京文化会館チケットサービス TEL:03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp>
イープラス <http://eplus.jp> (パソコン&ケータイ)

7.29(月)発売開始
ネットからは7.28(日)発売開始



北欧の巨星シベリウスの「声」が聞こえてくる。

フィンランドの清冽な大気と人々の確かな息づかいが「音」となって押し寄せてくる。

人気作曲家の代表的名曲3曲を一堂に！

北緯60度以北。ヨーロッパ大陸の最北、フィンランド。そこは、見渡す限りの森の絨毯。森の間にはひっそりと静かな表情を見せる無数の湖。そして、その湖面に点在する小さな島々。空気は肌を射るように冷たく、もの音ひとつ聞こえてこない。いや、耳を澄ませば、「自然」の呼吸音が聞こえてくる——シベリウスはその「呼吸音」を音楽に換えた。

ただ、シベリウスはフィンランドの自然を描こうとしたのではなかった。そこには「フィンランド人の魂」が注入されたのだった。

シベリウスの生涯は90年を越えたが、その前半生(19世紀後半から20世紀初頭)は隣国帝政ロシアの圧政下にある「フィンランド大公国」人としての生活だった。その頃、ヨーロッパではナショナリズムの風が吹き荒れていた——東京ニューシティ管弦楽団第91回定期演奏会はシベリウスの「魂」にスポットを当てることにした。

常に演奏会のプログラムを賑わし、とりわけ日本人に根強い人気を保っている交響曲第2番(1901)。シベリウスは政治的意図も自然描写もないと語っているが、やはりそこには北欧の巨星シベリウスならではの「もの静かで控えめなフィンランド人の内なる心と秘められた情熱」を感じ取らずにはいられない。

彼の代表作の一つ、ヴァイオリン協奏曲(1903)もまた、フィンランド人シベリウスの想いが如実に表れた作品だ。彼は第1楽章の冒頭を「極寒の澄み切った北の空を、悠然と滑空する鷲のように」と述べたが、独奏ヴァイオリンが奏でる旋律はフィンランドの情景というよりもシベリウス個人の「語らい」だ。円熟の境地に入ってきた清水高師が技巧だけでは表現しきれない精神の極みを聴かせてくれる。

1900年のパリ万博。そこで演奏された「フィンランディア」(1899/その時の作品名はロシアを気遣って「祖国」とした)。フィンランド人によるオーケストラに同行し、演奏を見守ったシベリウス。自由と独立の国フランスでこの曲を披露することは、絶好のアピールとなった。しかし、シベリウスはこれで満足したわけではなかった……。

東京ニューシティ管弦楽団常任指揮者の内藤彰が作品の校訂経緯を仔細に調べ上げ、今回、作曲者が精魂傾けた「フィンランディア・最終稿」を初めて披露することになった。

4年後(2017年)、独立100年を迎えるフィンランド。3作品とも独立以前の作曲であり、「シベリウスの魂」に一気に迫るプログラムだ。

フィンランディアの完成稿は別に存在していた！

内藤 彰

今までの「フィンランディア」は、原曲の「舞台劇のための音楽」から《交響詩》へと成長する初期段階で出版されたまま、あたかもその版がシベリウスの完成稿であるかのように扱われ演奏されてきた。そして、修正されないままのおびただしい楽譜上のミスや、舞台のための効果音だけが取り残されているなど、《交響詩》への不完全な改変から生ずる様々な矛盾が今まで多くの指揮者を悩ませてきた。

その状態を最も憂いた者は、他ならぬシベリウス自身であった。彼は新しいピアノ編曲版の出版という千載一遇のチャンスを得、これを機に無数のミスを自ら修正し、劇音楽から《交響詩》へのさらなる改変を見事にやり遂げ、最終完成稿をピアノ版の形で公にしたのである。しかし彼の精魂傾けたその最終稿は、諸事情によりその重要性を認識されることなく徐々に埋もれていったのである。

この度の、彼の最終意思に基づいた校訂により、シベリウスのたったの願ひである《交響詩》「フィンランディア」の完成稿が百年の眠りから覚め、母国フィンランドの方達をも含む世界のクラシックファンの間に認識されることが可能となったことは一介の指揮者としてこの上もない喜びである。

なおこの完成稿に関する詳細をお知りになりたい方は東京ニューシティ管弦楽団のホームページ <http://tnco.or.jp> をご覧ください。
または直接 内藤彰 akira.neitou@nifty.com に「フィンランディアの資料を請う」と御連絡ください。詳細校訂文を添付にてお送りいたします。(11月に新版発売予定)

清水高師 (ヴァイオリン)

6歳より徳永茂に師事、その後恩師の助言により鷲見三郎に学ぶ。10歳でNHK毎日学生コンクール優勝、N響と共演。17歳で日本音楽コンクールに優勝。

翌年アメリカに留学、ヤッシャ・ハイフェッツに師事。ハイフェッツの助言でミシェル・オークレールに師事しフランス奏法を学ぶ。同時にオークレールの紹介でイブラ・ニーマンに室内楽を10年間学び、恩師よりユーディ・メニューイン、ナターン・ミルシュタインを紹介され師事する。数々の国際コンクールに優勝または上位入賞を果たす。フランスで開かれた世界の国際コンクール優勝者を集めたコンクールにおいて最優秀グランプリを受賞。又、ユーディ・メニューイン指揮ロイヤル・フィルでデビュー。イギリスを中心に年間30以上のオーケストラと共演、又ヨーロッパを中心にコンサートツアーを行なう。

1990年帰国、現在東京芸術大学、今年度より東邦音楽大学にて後進の指導を行う。

今年度はオーストリア、ドイツ、イタリア、ウクライナ、ブルガリア、ルーマニア、メキシコ、モルドヴァ、韓国で協奏曲、リサイタル、室内楽等に出演。

これまでにマルタ・アルゲリッチ、ユーディ・メニューイン、イザリ・ギトリス、ユーリバシシュメット、マリオ・ブルネロ、ブルーノ・カニーノ、ミーシャ・マイスキー等と共演。



チケット
お申込み
について

事務局チケットダイヤルでのお申込み

Tel:03-5933-3266

※10:00～18:00(土日祝を除く平日)

Fax: 03-6766-3782 E-mail: ticket@tnco.or.jp

ネットでのご予約も

座席指定が可能になりました！

<http://tnco.or.jp/>

※会員登録(メールアドレスとパスワード)が必要です(無料)。

- ファミリーマートで現金決済・チケット受取ができます。
- クレジットカードでの決済も可能になりました。
- 事務局よりチケットを発送する場合は送料をご負担いただきます。
- ※どの場合も所定の手数料をご負担いただきます。